

トピックス **プラス**

5/25～6/30

環境を学び色鮮やかな花を満喫

環境保全に関する特別企画「環境パネル展」が、5月25日から6月30日まで市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターで開催されました。地球温暖化や生活排水などの環境パネル70点を展示。連日多くの観光客が訪れました。また、施設の敷地内には、エコーデイフランスなどの色鮮やかなジャーマンアイリスが咲き誇り、株販売も行われました。



▲色鮮やかなジャーマンアイリスの株を販売しました

6/2

むし歯をなくして生涯健康な歯に

第24回むし歯予防青空キャンペーンが6月2日、ヨークベニマル佐沼店で開催され、多くの親子連れが訪れました。イベントは、歯の衛生週間に合わせて開催したもので、むし歯の検診や歯磨きの仕方などを、市内の歯科医師や歯科衛生士が指導しました。むし歯がない子には表彰状が贈られ、参加者に歯ブラシや風船などがプレゼントされました。



▲歯ブラシ指導やフッ素体験が行われたキャンペーン

6/9

企業が協力しごみ拾いとスポーツ親睦

市内企業のボランティアによる清掃作業が6月9日、登米祝祭劇場や光ヶ丘球場の敷地内と、その周辺道路で行われました。参加したのは、迫りコー(株)とその協力会社の三愛ロジスティクス(株)、迫トラック(株)など5社。それぞれの社員約100人が、たばこの吸殻や空き缶などを拾い集めました。その後、各社対抗のソフトボール大会で親睦を深めました。



▲たばこの吸殻や空き缶などのごみを集める参加者

6/9

登米IC(仮称)の完成が近づく

三陸縦貫自動車道の河北-桃生津山インターチェンジ(IC)間(11.6km)の開通式が6月9日、石巻市の桃生津豊里IC内で行われました。式では、村井県知事や布施市長らのテープカットで開通を祝賀。道の駅津山「もくもくランド」では、太鼓演奏やチェーンソーアートなどのさまざまな催しで開通を祝いました。登米ICは来年夏ごろに開通する予定です。



▲テープカットで開通を祝う布施市長ら関係者

鮮やかな競演に目を和ませ

南方で花菖蒲まつり

みなみかた花菖蒲まつりが、南方花菖蒲の郷公園で6月16日から始まり、7月5日まで開催しています。園内には、300種、約80万本の花菖蒲が咲き誇り、日本庭園と野外彫刻の美しさを引き立てています。開園式が行われた16日と最初の日曜日の17日には、特設ステージで郷土芸能などのイベントが催され、市内外から多くの人々が来園しました。また、もっこりニラ・ラーメンや漬物などの地場産品も販売。園内にあるレストラン「牛トピア」では、南方産仙台牛のステーキも味わえ、来園者は満足していました。



▲80万本の花菖蒲が色鮮やかに競演し、来園者の目を和ませます

お父さんの奮闘に大きな声援

登米で地区市民体育大会

第62回とよま地区市民体育大会が6月17日、登米総合体育館で行われました。複数の行政区が集まって作られる、「スポーツ行政区」単位で開催。約700人が参加し、日ごろの運動不足を解消しました。大会は、こっからスポーツ行政区(岡谷地・大谷地・渋江)が昨年に続き優勝し、閉会式に大会委員長から優勝旗が贈られました。また、当日は「父の日」ということもあり、多くのお父さんが張り切って競技に参加。普段よりも大きく見えたお父さんといえば、小さくなったお父さんもいたようでした。



▲父の日に開催となった大会で、張り切って競技をするお父さんたち

歯磨きは幼児からしっかりと

豊里で子育てサロン歯科検診

子育てサロンの歯科検診(豊里子育て支援センター主催)が6月14日、豊里健康管理センターで行われ、13人の幼児とその家族が参加しました。市健康推進課の佐藤晶子歯科保健指導専門監が、参加した幼児一人一人の歯を診察し、歯の磨き方や歯ブラシの選び方などの指導をしました。佐藤専門監は「歯医者には治療のためよりも、予防のために行きましょう」と呼び掛け。お母さんたちからは「どうやったら歯磨きが好きになるのか」「むし歯になりやすい食べ物は何か」など、活発な質問が出されました。



▲小さいうちから歯磨きの習慣を身に付けてもらおうと開催した検診